第 2019-32 号

恵みと真理のニュース

2019 年 08 月の二次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］

神様が用意し助けてくださったことに感謝と賛美を捧げます

私は数年前に愛する娘（ウンジョン）を治療してくださった神様の恵みを証をしたことがあります。今回は私の腰を治してくださった神様の恵み、無料で腰手術を受けるように摂理した神様の恵みに感謝します。
私は２０１３年の末に、引っ越した後、属した教区を移さないまま以前の教区に属して信仰生活をしながら教会を仕えて首区域長の職任を遂行しましたが、2014に新しい教区を移しました。新しい教区に移して区域長達の家を回しながら区域長の祈りを終える頃、教区長から勧められてマンナ室で奉仕をはじめました。
聖徒の一人一人対してよく知らないしマンナ室で奉仕しながら一時期、聖徒達の結婚や葬式によく行けなかったのが申し訳なかったです。それで、私たちの教区に被害を与えないように教区に必ず主に用いられる者になるように心を尽くして祈って奉仕しました。
そのように1年になってある日から腰が痛くなりました。その時には私が無理したのかと重要に思わなかったです。かろうじて出かける準備をして家の近くの漢方治療も受けられる整形外課を探していきました。ヘルニアと言われてリハビリをして針を打たれた後、帰ってきました。ヘルニアは誰でもあるのよ。治療を受けながら働いたらよいだろうと思いました。相変わらず日常生活と教会生活をしながら過ごしました。ところが時間が過ぎると腰の骨から音がしました。しかし、音だけしてそんなに痛くなかったので治療だけ受けながら3か月がたちました。
そうする中でほかのリハビリ病院で働いている娘に“お母さんが座って立つときに変な音がするのよ。”と話しました。すると　“娘が！腰で音がする理由があるでしょう。明日すぐ私が勤務している病院に来てください。”としました。娘が勤務している病院に行きたくなかったですが、娘が強く言ったからその病院に行ってCT撮影を撮り、他の検査も受けました。すべての検査を受けた後、医者から“手術をしなければなりません。“脊椎前方位症”というので早く手術したほうが苦労しません。と言われました。私はビックリして小さい声で“はい”と答えて他の言葉は言えなくて病院から出ました。
もし、受けた結果が誤ったのではないか有名な病院に行きました。もっと正確な検診を受けるため MRI検査を受けた後、医師は絵まで書いてくれて手術をしないといけないと言われました。手術に関連することは相談だけして家に帰ってきました。その後、他の三つの病院にも行きましたが急いで手術しなければならないとしました。どこの病院でも答えは同じでした。
すると様々な心配が一気に押し寄せてきました。周りの人々が若い歳に腰を手術をしてはいけないんだとしました。母の手が必要な娘ウンジョンのためにも手術を決心することが大変な状況でした。マンナ室で奉仕の問題も気になりました。そして千万ウォンのくらいの手術費も問題でした。主の助けを求めるしかなかったです。“恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。たじろぐな、わたしはあなたの神。勢いを与えてあなたを助け／わたしの救いの右の手であなたを支える。”（イザヤ　４１：１０）という御言葉と“ 神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています。”（ローマ書８：２８）という御言葉を持って祈りました。私を助けてくださいと主の栄光を表せるようにと切に神様に祈りました。
手術を決心できなくて祈りながら教会の奉仕をする中で6年前に、娘の“脊柱側彎症手術をなさった医師がよく思い出しました。その医師は娘と私をとてもやさしく接してくださり、手術を勧めて私が住むアンサンにある大学病院の医師を紹介し 所見書を書いてくれました。一層気が楽になって感謝の気持ちになりました。
大学病院の教授の話も他の医師と違いがなかったです。手術をしなければならないと言う医師の話に私がうつむいたきり何なにも言わないと、なぜですか？手術費の事でしょう。と医師が聞きました。私は頭をもたげて“はい”と答えました。すると、先生が“私が無料で手術します。”“その代わりに条件があります。合病症がなくてまた、5年の間に手術した経験があってはいけないです。”その話を聞いて“神様が私の祈りに答えてくださったのだ。！恵みに感謝しながらも手術が怖くて手術日を決めなくて帰って来ました。
7月にある洗礼式で伝道した方が洗礼を受けるように助けましたが、急に体が酷く痛くて息が出ないくらい痛かったです。“もう、我慢できないです。主よ。”と言いながら病院に行って手術日を決めました。看護師が“建国大学病院、ソウルのグロの高大病院、アンサンの高大病院、この三つの大学病院で検査をして他の病気がなく5年以内に手術を受けたことがなくて骨っ節一つだけ手術する人の中で決めた人数を先発して無料で手術をしてくれると詳しく説明してくれました。“ハレルヤ”
検査の中で合病症が出ると無料でできないということと様々な条件にも私は心配しませんでした。神様がすべての事を予備して私を助けてくださることを強く信じたからです。さすが準備の家庭と入院と手術と治療のすべての過程に共になってくださった神様の恵みで良く進みました。退院した日、清算するという話を聞いてもしかしてクレジットカードを持って手術費と入院費をため行ったら千万ウォンぐらいの金額が書いてある領収証を渡しながら“印紙代金　二万三全ウォンお払いください。としました。どう話せなくうれしくて感謝でした。
長女が働いている病院でしばらく 療養をしてから手術した糸を解くため病院に行ったら私の診療シャットに100点と書きながら手術がとてもよくできたという意味で100点だと繰り返して言われました。手術の前の検査過程から手術後、1年の間、私が病院に行くと同じ担当する看護師がいつも親切に私を案内してくださってまるで特別の待遇を受けるように感じました。手術後1年間のすべての検査も無料でした。手術1年後のシャットにも100点と記録されています。回復もとても速かったです。後で知った事実ですが、その当時、高大病院で無料の腰手術は私だけ受けたそうです。
このように私を愛して下さり、私の祈りに答えて驚くなことを成し遂げてくださった神様に限りない感謝と賛美を捧げます。教会で牧師と伝道師と勧士と執事達、多くの方々が祈ってくださったので神様が祈りに答えてくださったのを信じます。祈ってくださったすべての方々に感謝します。神様が下さった健康でもっと熱心に教会と聖徒を仕え主のことをします。すべての栄光神様に捧げます。

［信仰コラム］

事実と真実

＂まことに彼はわれわれの病を負い，われわれの悲しみをになった。しかるに，われわれは思った，彼は打たれ，神にたたかれ，苦しめられたのだと...＂（イザヤ 53:4～6）

＇事実＇という単語は実際にあったりあった事、ある通りの状態や都合を意味します。＇真実＇という単語は偽りがなく正しくて誠であることを意味します。実際にあったりあった事に該当することはとても広範囲です。宇宙万物と人間の歴史と私達が処された状況と全ての事件が含まれます。しかし、そのような事実の中にはまだ知られていないことがあります。うすく知られているのがいて、歪曲されたことがあり、作為されたこともあります。そしてある事実には表面の意味より裏面に内在された意味を知ることで真実に到達できることもあります。
第一、私達はいかなる事実でも真実の程を知るべきです。
使徒ヨハネは＂全世界は悪い者の支配の下にいる＂と言いました。悪い者はサタンを指称します。＂サタンは偽りを言うとき，いつも自分の本音をはいているのである。彼は偽り者であり，　偽りの父であるからだ＂とイエス様が言われました。聖書には邪悪な者達が事実を作為して無辜な聖徒達を脅威して死に至らせた事件が記録されています。
ステパノが殉教された事件がその典型的な例としてたくさんのことを教訓します。登場する人々を分類してみると一番目の部類は、事実を歪曲して捏造して真実で正しい者を除去する人々です。二番目の部類は、一番目の部類の人々に買収されて行動隊員になる人々です。三番目の部類は、真実を知ろうとせず群衆心理や大勢に従う人々です。四番目の部類は、逼迫と脅威と犠牲を覚悟して真実に従って話して行動する人々です。私達は四番目の部類の人々が主流を成して主導する社会になるようにお祈りして励まなければなりません。
第二、万物と歴史と知られた事実そして聖書の御言葉に内在されている真実と真理を知らなければなりません。
人は万物がいかに存在するようになったのか、存在の理由が何であるかを尋ねます。また、先日の歴史とその意味を知ろうとして、未来に対する予測をします。このような探究をすることにおいて最も重要なのが基準と尺度です。神様が判断の基準になり、聖書が尺度になると全ての万物は神様の被造物であり人間の歴史は神様の思いと摂理によって支配されているのを分かります。神様と聖書という基準と尺度なしには万物の存在原因そして人間の歴史と生活の真実な意味とその理由を決して知ることができません。聖書には人が必ず知るべきの真実と真理が記録されています。それを知らせるために神様が予言者と使徒達を通じて聖書を記録させました。
聖書の御言葉には裏面的なメッセージを持ったことが多くあります。
まず、銅の蛇に関する話です。広野に行進していたイスラエルの子孫達が神様とモーセを恨んで不評すると神様が燃える蛇を民達の中にお送りなさい噛ませました。彼らの中で死ぬ者が多くなると民達が悔い改めてモーセに仲保祈祷を頼みました。神様がモーセに＂火のへびを造って，　それをさおの上に掛けなさい。すべてのかまれた者が仰いで，それを見るならば生きるであろう　＂と指示なさいました。モーセが銅で蛇を造って棹に掛けると、蛇に噛まれた人ごとに銅の蛇を仰ぐと生きました。この事件にはイエスキリストの贖いの死とこれを信じる者に臨む救いに対する予言的で象徴的な意味があるということをイエス様が明らかになさいました。銅の蛇を仰いだというのは神様の御言葉を信じて従ったということを意味します。イエスキリストを信じると罪の許しを受けてとこしえの命を得るという御言葉を信じて従う人は誰でも救いを得ます。
イエス様当時に、ユダヤ人達はイエス様が受ける苦難について＂彼は打たれ，神にたたかれ，苦しめられたのだ＂と思いました。聖霊の教えを受けないとこのようにしか考えられません。イエス様が受けられた苦難の真実な意味は何ですか？彼はわれわれのとがのために傷つけられ，われわれの不義のために砕かれたのだ。彼は.みずから懲らしめをうけて，われわれに平安を与え，その打たれた傷によって，われわれはいやされたのです。
皆さんはいかなる事実であれ真実の程を知ろうと努力して、また私物と歴史と事実に内在された真実な意味を知ろうと渇望することで聖霊様の教えを得るように祝福します。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

岩の上に建てた家

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

今日の本文の内容を分析し、要約するとこのようです。
すべての人は例外なく二種類の建築者の一つに属します。賢い建築者と愚かな建築者の名前で区別されます。その区分は、建築者が家を建てる基礎がどこかに応じて決定されます。賢い建築者は岩の上に家を建てたが、愚かな建築者は砂の上に家を建てます。ところが、建築者の賢いと愚かさが明らかに現れる時が必ず来ます。それは雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家にぶつかるときです。その岩の上に建てた家は崩れないが砂の上に建てた家は、ひどく崩れてしまいます。このたとえで家と人は同格で理解しても構わないと思うことができます。砂の上に建てた家が崩れるということは、その家を建てた人が滅亡することを意味するからです。イエスのこの例えを詳しく見てみましょう。

第一に、家を建てる人が優先的に考慮すべきことは、家を建てる地盤です。

イタリアの都市ピサに建てられた塔は傾いた建物で有名です。この塔は、1178 年に行われた 1 次工事の後塔の南側地盤がおさまったら立って傾きが見つかりました。その後、2 次工事で、これを修正して再構築したが、傾く現象が続きました。1990 年から 10 年にかけて補修工事を進めた結果、傾き現象は 5.5 度で停止状態になりました。問題は、ピサの塔が建てられた地盤の状態にあります。一方、米国ニューヨークに超高層ビルが森を成しているマンハッタンは非常に強固な造岩になっていて、マンハッタンのどこでも超高層ビルを建てるに適しているとします。

第二に、イエスは人生を家に例えながら、人生の家は必ず岩の上に立てらなければならないと教えられました。そして岩は、イエスの言葉だと説明しました。

「誰でもが私のこの言葉を聞いて行う者は、その家を岩の上に建てた賢い人のようだ。」と言われました。ピリポがイエスに言った、**「主よ、父を私たちに見せてください。そうすれば満足します。」**としました。イエスが言われた**「ピリポ よ， こんなに 長くあなたがたと一緒にいるのに， わたしがわかっていないのか． わたしを 見た 者は， 父を 見たのである． どうして， わたしたちに 父を 示してほしいと， 言うのか．わたしが 父におり，父がわたしにおられることをあなたは 信じないのか． わたしがあなたがたに 話している言葉は， 自分から 話しているのではない．父がわたしのうちにおられて， みわざをなさっているのである」（ヨハネによる福音書 14:9,10）**としました。

イエスの言葉は、すなわち、父神の言葉です。**「そして 言は 肉体となり， わたしたちのうちに 宿った． わたしたちはその 榮光を 見た． それは 父のひとり 子としての 榮光であって， めぐみとまことに 滿ちていた．」（ヨハネによる福音書 1:14）**しました。イエスの一挙手一投足が人生を向けられた神様の御言葉です。イエスについて聖書どおりの知識と信仰を持っている人は、岩の上に家を建てた人です。
イエスがカイザリヤフィリ地方に行かれたとき、弟子たちに質問されるのを**「あなたがたはわたしをだれだと言うのか」**と言いました。**「主はキリストであり、生ける神の子です」**とペテロが答えました。ここで、「キリスト」という言葉は、ヘブライ語では「メシア」で 油を注がれた者」という意味です。神が罪人を救うために自分のひとり子に任務を与えて時になったときに、その任務を遂行するためにこの世に送られました。そして聖霊で油をそそがれました。イエスは預言者、祭司長、王の役割と働きを完全に実行なさいました。イエスは神の御旨を私たちにすべて伝えました。イエスは永遠の大祭司として来られ、自分自身を生けにえで捧げ永遠に一気にあがないするのを成し遂げました。そして彼を信じるすべての人が永遠に罪の赦しを受けました。そして仲介になられ、私たちのために祈りしまた、私たちは彼の名前に求める祈りが神に届いでおられます。イエスは永遠の王として、無限の力と能力に聖徒たちの魂を永遠に安全に守ってくれます。将来の世を審判して治めるために来て、義で統治なされます。主の国に住んでいる人たちは、絶対的な安全性と完全な幸福を享受するのができます。
イエスのペテロの信仰告白で「生ける神の子」という言葉は、3 つの意味を内包しています。イエスは天の御父がこの世に遣わされた永遠の神の子という意味があります。イエスは唯一の救い主という意味があります。そして、イエスは神の極真な愛が私たちに示されたことを意味します。
イエスはペテロの信仰告白を聞いて、「あなたが幸いである」と言われました。そんな信仰告白をすることができるよう、父なる神がペテロに知識と信仰をくださったからです。イエスがペテロに、**「わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てよう。黄泉の力が勝てないであろう」**としました これは「主は生ける神の子です」というペテロの信仰告白を指す言葉です。イエスについて聖書どおりの正しい知識と信仰を持っている人は、岩の上に家を建てた人であり、必ず幸いな人です。

第三に、洪水が押し寄せ、風が吹いても岩の上に建てた家は崩れないが、砂の上に建てた家は倒壊がひどくなるとしました。

砂の上に建てた家とは、他の言葉で砂の上に家を建てる人が誰なのかを見てみましょう。この世の人々は、砂の上に家を建てます。彼らは人本主義的な哲学思想と宗教の土台の上に人生という家を建てています。しかし、本文で砂の上に家を建てる人は、疑似信者を指すものとがより妥当です。

イエスが**「狭い門と広い門」「実と木」「不法を行なう者」**について連続して言われた後、「それゆえ」という単語を使用して本文に記録された言葉を言われたからです。疑似信者とは表面上は似ているが、実際には全く違ったり、非信者を意味します。砂の上に家を建てる疑似信者の実像が本文の前に記録された言葉で明らかに現れます。
まず、狭い門と広い 門 について記録された言葉を見てみましょう。**「狭い 門からはいれ．滅びにいたる 門は 大きく， その 道は 広い．そして， そこからはいって 行く 者が 多い．命にいたる 門は 狭く， その 道は 細い．そして， それを 見いだす 者が 少ない」（ マタイによる福音書 7：13,14）**しました。
イエスは言われた**「わたしは 門である． わたしをとおってはいる 者は 救われ， また出入りし， 牧草にありつくであろう」（ ヨハネによる福音書 10：9）**し、**「わたしは 道であり， 眞理であり， 命である． だれでもわたしによらないでは， 父のみもとに 行くことはできない」（ヨハネによる福音書 14：6）**としました。聖書を人間の理性と経験のカテゴリの中で理解しようとすると、世界の人々が納得する方向で神学教理を作ります。これは広い門であり、通りです。疑似信者が行く門であり道です。
次は、 **「にせ 預言者を 警戒せよ． 彼らは，羊の 衣を 着てあなたがたのところに 來るが，その 內側は 强欲なおおかみである．あなたがたは， その 実によって 彼らを 見わけるであろう． 茨からぶどうを， あざみからいちじくを 集める 者があろうか． そのように，すべて 良い 木は 良い 実を 結び， 悪い 木は 悪い 実を 結ぶ． 良い 木が 悪い 実をならせることはないし， 悪い 木が 良い 実をならせることはできない． 良い 実を 結ばない 木はことごとく 切られて， 火の 中に 投げ 込まれる．このように， あなたがたはその 実によって 彼らを 見わけるのである」（マタイによる福音書 7：15～20）**と言われました。疑似牧師、疑似神学教授、疑似信者は巧みな言葉で自分の正体を隠して、教会での活動します。しかし、その実を見れば木を知ることができます。その次は、**「わたしにむかって『主よ， 主よ 』と 言う 者が， みな 天國にはいるのではなく， ただ， 天にいますわが 父の 御旨を 行う 者だけが， はいるのである」（マタイによる福音書 7:21）と**しました。聖書どおりの信仰を持たず、「主よ、主よ」と呼ばれるだけでは救われません。
疑似信者は広い道を進んでおり、略奪するおおかみを追従しており、いばらとあざみとは不法を行う者です。彼は決して天国に入らないであります。イエス言わた**「雨が 降り， 洪水が押し 寄せ， 風が 吹いてその 家に 打ちつけると， 倒れてしまう． そしてその 倒れ 方はひどいのである」（マタイによる福音書 7:27）**しました。疑似信者は天国に入らないだけでなく、神の裁きを受けて第二番目の死である火と硫黄の燃える池に入ります。
一方、岩の上に立てた家のような信者は雨と洪水と嵐が迫っても、彼の信仰は決して崩れません。他のいわれば 逆境、苦難、迫害、誘惑にも変わらず、信仰を強く守っていきます。

皆さんは私たちを罪からあがないした、方がイエス・キリストしかないと徹底的に信じて、神の言葉を歪曲されて教える者を厳しく選別し、断固として排撃して、実際に岩の上に建てた家であり、岩の上に家を建てた人生としての幸せを享受するのを願っております。